

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	内眼炎疾患に対する統計と臨床成績の検討
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2007年1月から2017年12月までの10年間に新潟大学医歯学総合病院のぶどう膜炎外来を初診したぶどう膜炎患者を対象とします。外傷や術後炎症に関連した疾患は除外します。 研究責任者： 新潟大眼科学教室 黒澤史門
③ 概要	<p>ぶどう膜炎の最新の疾患動向を調査いたします。</p> <p>使用するデータは、診療録のデータのみで、個人が特定されないような名前などは用いません。また個人が特定できないようデータは匿名化を行います。他の機関へ情報を提供することはありません。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p> <p>本研究は診療情報を元にした後方視的研究であり、研究対象者に利益、不利益、危険が新たに発生することはありません。</p>
④ 申請番号	2017-0065
⑤ 研究の目的・意義	<p>ぶどう膜炎を含む内眼炎疾患の臨床統計は、現在までに多くの報告が出されており、地域差や年次による変化を認めています。それらは、診断技術の進歩や生活習慣の変容、新しい疾患概念・基準の確立など諸因子の影響を受け、絶えず変化しています。内眼炎症を発症してから、早期に確定診断がつけば、適切な治療を迅速に開始でき、視力予後の向上につながり得ると考えます。ゆえに、最新の疾患動向を示す臨床統計を調査することは極めて有用であると考えます。</p> <p>本研究は診療情報を元にした後方視的研究であり、研究対象者に利益、不利益、危険が新たに発生することはありません。</p>
⑤ 研究期間	研究実施期間は倫理審査委員会の承認後～2026年12月31日までの期間です。
⑦ 情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診療録データを使用します。他機関へ情報を提供することはありません。
⑧ 利用または提供する情報の項目	診療録データのうち、最終診断名、血液などの検査結果、経過中の視力や眼圧、細隙灯や倒像鏡による検眼的眼所見、画像所見を用います。
⑨ 利用する者の範囲	新潟大学眼科学教室

④ 試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学眼科学教室 黒澤史門
④ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学眼科学教室 氏名：黒澤史門 Tel：025-227-2296 E-mail：smn-k@med.niigata-u.ac.jp